

## 平成29年11月2日定例教授会議事抄録

### 出席者

梶屋所長

青山、大木、黒田、佐藤、菅、園田、高橋、高見澤、長澤、中島、名和、松田の各教授  
額定其勞、藏本、小寺、鍾、塚本、馬場、森本、米野の各准教授

### 海外渡航者

池亀、古井の各准教授

### 議事

10月12日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

### 通知事項

1. 教員等の公募 資料P5のとおり4件
2. 各種研究助成等の募集について なし

### 報告事項

#### 3. 所長報告

梶屋所長より、以下の会議等について報告があった。

##### 1) 未来社会協創推進本部（10月24日）

資料P6～11に基づき、未来社会協創推進本部の構成および学知創出分科会の最近の動向について、説明があった。

また、自身の所属している連携支援分科会国際連携タスクフォースにおいても、動きがあれば随時報告していく予定であるとの発言があった。

##### 2) 科所長会議（10月24日）

###### ① 教員ポスト情報の透明化

教員ポスト情報の透明化について、説明があった。

###### ② 国における退職手当制度の動向

資料P13～14に基づき、国における退職手当制度の動向について説明があった。

###### ③ IRデータ室Q&Aの学内公開

資料P15～30に基づき、IRデータ室Q&Aの学内公開について報告があった。

##### 3) 予算委員会（10月24日）

資料P31に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

##### 4) 国立大学附置研究所・センター長会議第3部会（10月20日）

平成30年度に常置委員、平成31年度には部会長および全体会議の副会長となる  
ことが同会議で決まったとの報告があった。部会長はシンポジウムを主催する必要があること、シンポジウムの開催経費は同会議で負担していただけること（上限あり）

について補足説明があり、企画したい方は申し出ていただきたいとの要請があった。

5) 教員の海外渡航について（報告）

資料P32～34のとおり10件を承認した旨報告があった。

6) 委員等・非常勤講師の応嘱について

資料P35のとおり委員等3件を承認した旨報告があった。

7) その他

① H30Sセメスター全学自由研究ゼミナールの担当について

資料P36に基づき、教養学部からH30Sセメスター全学自由研究ゼミナールの担当教員選出依頼が届いており、米野准教授に担当いただく予定であるとの報告があった。なお、東文研では希望者を優先したうえ、着任日を基準に昇順で依頼することとしているとの説明があり、H30Aセメスターは、藏本准教授、H31S以降は、希望者がいなければ平成30年4月1日採用予定の准教授が担当する予定になっているとの説明があった。

② 初年次ゼミナール文科開講希望調査について

資料P37～41に基づき、教養学部から初年次ゼミナール文科開講希望調査が届いているとの報告があり、希望のある方は申し出ていただきたい、申し出がない場合は所長から依頼する場合もあるので、その際は協力願いたいとの説明があった。

③ 防災訓練報告

10月30日（月）に実施した東文研・博物館合同防災訓練について参加者数（避難者報告数）、当日の講評、今後の課題点等について報告があった。

また、11月14日（火）には全国瞬時警報システム(Jアラート)の全国一斉試験放送が実施され、学内に設置されている防災行政無線からも屋外放送が流れる予定であるとの案内があった。

4. 各委員会報告

1) 財務委員会

特になし

2) インフラ委員会

特になし

3) 情報・広報委員会

菅委員長より、10月21日（土）に開催された第17回公開講座の参加者数等について報告があり、講師の中島教授および安富教授、関係者に謝辞が述べられた。

4) 研究企画委員会

藏本委員より、本日14時から開催される米野准教授の定例研究会について、案内があった。

5) 図書委員会

特になし

6) 東洋学研究情報センター委員会

特になし

7) G J S委員会

園田委員長より、来年度のサマープログラムの奨学金について、学内審査を通り、  
(独) 日本学生支援機構に申請されることとなったとの中間報告があった。

8) その他

塚本レクレーション委員長より、次回教授会開催日の夕刻に開かれる創立記念パーティーについて、忘年会を兼ねて開催する旨案内があった。

5. その他

① 大木教授より、本研究所と復旦大学文史研究院、プリンストン大学東アジア学部との学術交流コンソーシアム覚書に基づく国際学術会議について、本年度で3周目に入ること、今回は東文研を会場として12月に開催すること、まもなく詳細をホームページで案内できる予定であること等の説明があった。

また、中島教授からプログラム概要について補足説明があり、参加依頼があった。

② 高見澤教授より、他部局の図書室の整理を手伝う機会があったことを受け、東文研においても図書資料を受け入れるためのスペースの確保やガイドラインの策定などの準備を進めてはどうかとの提案があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

該当教員欠席のため柵屋所長より説明があり、資料P 4 2のとおり1件を承認した。

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P 4 3～4 5のとおり9件の受入れが承認された。

8. 平成31年度からの共同利用・共同研究拠点認定について

柵屋所長より、平成31年度からの共同利用・共同研究拠点認定について、申請にかかるスケジュールや現時点の進捗状況、申請するとなった場合に必要となる準備等について説明があり、今回申請するかを審議願いたいとの提案があった。その後、種々意見交換の結果、今回申請することが承認された。

このことを受け、申請には膨大な資料を短期間に準備する必要があり、教員にも作業の依頼があるので、何卒協力いただきたいとの要請があった。

9. その他

特になし

以上